

(仕様書第 3 号様式)

## 支援業務等実施報告書

2021年4月～2022年3月

(作成日 2022年3月31日現在)

## 1. 業務の名称

かながわコミュニティカレッジ運営業務

## 2. 実施した業務の内容、所見等

## (1) 講座企画・編成方針、講座開催計画

## ●講座実施団体、講師等との企画調整

新型コロナウイルス感染症対策に関する神奈川県への対応方針に従い、感染拡大防止対策を講じたうえで、計画した 35 講座 (39 件) のうち、34 講座 (37 件) を実施しました。

8 月 2 日 (月) から 9 月 30 日 (木) までの間、「特措法に基づく緊急事態宣言に係る神奈川県の実施方針」に基づき対面講座が行えなかったため、当該期間中に計画した講座は延期、又はオンライン講座への変更などの対応を取りました。このため 10 月から 12 月の 3 ヶ月間に開講する講座が集中し、ほぼ毎日、複数の講座を開催しました。

1 月 21 日 (金) から 3 月 21 日 (火) の間は「特措法に基づくまん延防止等重点措置に係る神奈川県実施方針」に基づき、感染拡大防止対策とりながら、計画していた講座を滞りなく実施しました。

## ・日程変更した講座 (13 件)

【主催講座】 空き家活用による地域課題の解決と価値の生み出し方

犯罪被害者支援ボランティア養成講座

傾聴ボランティア養成講座 入門コース

聞き書きボランティア養成講座

園芸療法ボランティア入門講座

リスナルケアラー養成講座

もっと知りたい食品ロス！身近なことから活動をはじめよう

発達障がい児支援ボランティア養成講座 (実践編)

傾聴ボランティア養成講座 ステップアップ研修

【連携講座】 ワード 2016 で作る思わず手に取るチラシの作り方

Web 会議システム活用のサポート講座

子どもシェルターボランティア養成講座

犯罪被害者支援ボランティア養成講座 (上級)

## ・オンラインを活用した講座 (8 件)

【主催講座】

人生 100 歳時代の NPO・市民活動 (基礎編) と (実践編) (オンライン)

もっと知りたい食品ロス！身近なことから活動をはじめよう (会場とオンライン併用)

【連携講座】

災害ボランティア入門講座①② (会場とオンライン併用)

回想法リーダー養成講座 (オンライン)

外国につながる子どもの学習支援養成講座 (講座途中からオンラインに切り替え)

【特別講座】

地域で学び、地域で活躍する 人生 100 歳時代のライフデザイン (オンライン)

- ・中止となった講座（2件）

【連携講座】 超高齢化社会を市民パワーで支えよう！「市民世話人®」養成入門講座  
ワード 2016 で作る 思わず手に取るチラシの作り方 午後の部

### ●ボランティア活動未経験者層に向けた講座の開催

これまでボランティア活動の経験がない方が参加しやすい講座として、オンラインの無料セミナーを開講しました。セミナー参加後に、コミュニティカレッジ講座に申し込まれた方も多く、次のステップへつなげるきっかけを提供することができました。

日 時：8月29日（日）13:30～15:00 （Zoomによるオンライン開催）

参加者：81名（申込数97名）

テーマ：地域で学び、地域で活躍する 人生100歳時代のライフデザイン

内 容：（第1部）講演「自分探しの旅とボランティアライフ」

講師 興梠 寛氏（社会学者、アクティブ・シティズンシップ研究所代表）

（第2部）かながわコミュニティカレッジの紹介

### ●アーカイブ配信の試行

- ・今年度の新たな試みとして、下記の講座を対象にアーカイブ配信を行いました。

- ① 人生100歳時代のNPO・市民活動＜基礎編＞（オンライン講座）
- ② 人生100歳時代のNPO・市民活動＜実践編＞（オンライン講座）
- ③ NPO会計実務講座（対面講座）

※①、②の講座はZoomによるオンライン開催としたため、受講生側の環境要因で受講できなかった際に備え、後日YouTube（かながわコミュニティカレッジ事務局チャンネル）上に限定公開した講義録画を、希望する受講生が一定期間視聴可能としました。③の講座は会場で講義録画を行い、上記と同様に後日YouTubeで限定公開し、希望する受講生が復習のため一定期間視聴可能としました。

- ・また、1月～2月に開講した下記の講座は、新型コロナウイルス（オミクロン株）の急激な感染拡大で、受講生に濃厚接触者や体調がすぐれない方がいらっしゃる可能性を考慮し、アーカイブ配信の準備を行い、体調に不安がある方には自宅で受講するよう促しました。
  - ④ 新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座＜基礎編・応用編＞（対面講座）
  - ⑤ もっと知りたい食品ロス！身近なことから活動をはじめよう（ハイブリッド講座）
  - ⑥ 傾聴ボランティア養成講座ステップアップ研修（対面講座）

### ●フォローアップ会の実施

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、講座内でグループワークが十分行えず、講座期間中の受講生同士の会話も少なかったため、仲間作りや実施団体とのつながりがなかなか持てない状況でした。1月、2月に以下の講座で講座実施団体がフォローアップを行い、次の活動につながるためのサポートが行われました。

【主催講座】 聞き書きボランティア養成講座（受講生交流会、学習会を実施）  
大人になって知る発達障がいとひきこもりを考える講座  
（受講生交流会、学習会を実施）

【連携講座】 子どもシェルターのボランティア養成講座（ボランティア説明会を実施）  
防災教育ファシリテーター養成講座（フォローアップ講座を実施）  
野生動物リハビリテーター養成講座（フォローアップ講座を実施）

## ●講義室における感染症拡大防止対策

神奈川県感染症対策取組書に登録して以下の対策を取り、受講生にもご協力いただきました。グループワークを行う際は、マスクとともにフェイスシールドの利用を促し、換気をこまめに行うなどの対応を取りました。

- ・両講義室の定員は30名までとする
- ・各机に1名着席とし、一人ひとりの間隔を取る
- ・講義室内は定期的に換気を行う
- ・受講生、講師、スタッフはマスク着用
- ・手洗い、手指消毒の励行を呼びかける
- ・受講前に自宅で検温のお願いと受講当日も入口で検温をする
- ・発熱者や具合の悪い方の出席は控えていただく
- ・講義室は使用後に机・椅子などの清掃・消毒作業を行う
- ・受講生に「神奈川県 LINE コロナお知らせシステムへの登録」の案内を配布

## (2) 受講生募集のための広報について

- ・主催講座と連携講座の募集案内をそれぞれ作成し、神奈川県内の公共施設等に配架依頼をしました。主催講座は同時期に開講する講座が多いため、配架先が扱いやすいようチラシをひとまとめにしたリーフレット形式の広報物としました。
- ・令和3年度年間講座スケジュール「年間パンフレット」を作成し、5月末に募集案内と一緒に公共施設等へ送付しました。今年度はパンフレット表裏のデザインを一新しました。
- ・講座情報を下記の媒体を通じて告知しました。  
県のたより、かながわコミュニティカレッジのホームページ（県のHP及び当団体運営HP）、講座修了生向けメール、神奈川県庁の関係部署が運営するTwitterやFacebook、メールマガジン等。
- ・事務局が運営するコミュニティカレッジホームページに、令和3年度の講座報告を掲載しました。URL <https://komikare.soco-kana.jp/>

## (3) 自由企画提案業務など

修了生の地域・社会活動への参加促進や活動支援に資するよう、以下の取り組みをおこないました。

## ●修了生アンケートの実施

令和2年度の講座修了生に向けて、修了生アンケートを実施しました。アンケート調査の概要は以下のとおりです。※回答報告書は別途報告済

修了生アンケート調査の概要

### (1) 調査の趣旨

受講生への相談体制・情報提供の充実などの学んだことを生かす仕組みづくりや、修了生が必要としている講座ニーズを把握して今後の運営や講座を充実させるため、かながわコミュニティカレッジ修了者に対してアンケートを実施した。

## (2) 調査実施期間

令和3年6月17日～7月30日

(※7月30日までに郵送・オンラインで届いた回答を集計)

## (3) 調査対象

かながわコミュニティカレッジで令和2年度に実施した県主催15講座の修了生

## (4) 回収結果

- ・修了生総数 290人(延べ修了者数 322人)
- ・回答数 108人(うち郵送回答71人、Web回答37人)
- ・回答率 37.2%

また、アンケート送付時に、今年度の年間講座スケジュール、募集中の講座チラシ、令和2年度に作成した『コミカレ通信 総集号』を同封しました。さらに、活動の状況や近況をお知らせいただく「近況報告シート」も同封し、多くの修了生から返送いただきました。「近況報告シート」は11階講義室の外壁に設置したコミュニケーションボードに掲示しました。

### ●修了生・受講生のためのオンライン交流会

かながわコミュニティカレッジ修了生・受講生を対象にオンライン交流会を開催しました。受講生が互いの近況や活動状況を情報交換し交流することで、ウィズコロナでの活動の活性化や、今後の活動に向けたモチベーション継続につなげることを目的としました。

地域活動の事例紹介を行った後、質疑応答を挟んで、少人数に分かれた情報交換を行いました。ブレイクアウトルームにはファシリテーターが1名ずつ入り、受講生同士の会話が進むようサポートしました。

日 程：12月5日(日)13時30分～15時30分 (Zoomによるオンライン開催)

対 象：メルマガ登録をしている修了生・受講生及び令和3年度終了講座の受講生

参加者：17名

参加費：無料

内 容：地域活動事例紹介

＜青少年の地域活動拠点、多世代交流の場～あおばコミュニティテラス＞  
小グループで参加者同士の情報交換、交流

### ●コミュニケーションボードの活用

11階壁面を使ったコミュニケーションボードに、修了生から送られた「近況報告」を掲示しました。さらに、コミュニティカレッジからのお知らせや、県内支援機関による講座やイベント案内チラシ等、受講生の目に触れるよう掲示しました。

### ●修了生及び登録者への定期的なメール配信

ボランティア活動サポート課から預かった修了生のメールアドレス(メール配信を希望された方のみ)及び県のホームページ経由で登録希望のあったメール配信希望者に宛て、講座情報や相談窓口の案内を記載したメール情報を配信しました。(配信数3,461件：12月時点)

### ●パンフレットスタンド(ラック)の活用による市町の支援センター情報の提供

神奈川県内の市民活動支援施設28ヶ所が定期的に発行している情報紙を、2つの講義室内に設置しているラックにそれぞれ配架し、受講生の活動に役立つ情報提供を行っています。

以 上